

データ集

マネジメント

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
人権の尊重 >			
人権に対する考え方と取り組み			
人権啓発への取り組み			
人権標語の応募作品数	456作品	661作品	654作品
人権啓発推進委員会			
└ 本部委員	12人	12人	12人
└ 部門別・地区別委員	12人	15人	16人
コンプライアンス >			
※ 当社グループは、2022年度から2024年度は、三菱ケミカルグループ（MCGグループ：当時の親会社）がグループ一体で実施・集計していました。			
コンプライアンス推進体制※			
コンプライアンス推進責任者・担当者数	—	—	—
コンプライアンス推進責任者・担当者との会議の回数	—	—	—
コンプライアンス研修※			
コンプライアンス研修実施一覧			
└ 全社共通研修			
└ 実施回数	—	—	—
└ 受講者数	—	—	—
└ 部門別研修			
└ 実施回数	—	—	—
└ 受講者数	—	—	—
└ トップセミナー			
└ 実施回数	—	—	—
└ 受講者数	—	—	—

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
└ 新入社員研修			
└ 実施回数	—	—	—
└ 受講者数	—	—	—
└ 理解度チェック			
└ 実施回数	—	—	—
└ 受講者数	—	—	—
ホットラインの設置※			
ホットライン対応件数			
└ 職場環境	—	—	—
└ 処遇人事	—	—	—
└ 横領背任	—	—	—
└ 法令規則	—	—	—
└ その他	—	—	—
└ 合計	—	—	—
リスクマネジメント >			
※ MCGグループERM委員会。当社グループは、2022年度から2024年度は、三菱ケミカルグループ（MCGグループ；当時の親会社）がグループ一体で実施・集計していました。			
事業活動に伴うリスク管理			
リスクマネジメント委員会の回数	3回	3回	2回

環境

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
環境マネジメント >			
ISO14001認証取得状況			
ISO14001 認証取得拠点			
└ 国内	2拠点	2拠点	2拠点
└ 海外	2拠点	2拠点	2拠点
目標と取り組み >			
環境中期行動計画21-25の達成状況			
温室効果ガス排出量削減率（2019年度比、スコープ1+2）			
└ グローバル	35%	34%	29%
温室効果ガス排出量（スコープ3）	754.8千t-CO ₂ eq	713.9千t-CO ₂ eq	700.9千t-CO ₂ eq

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
フロン類			
└ 漏えい量（国内）	160kg	43kg	179kg
└ 漏えい量（国内）	649t-CO ₂ eq	74t-CO ₂ eq	809t-CO ₂ eq
廃棄物発生量削減率（2019年度比、国内）	40%	40%	35%
廃棄物最終処分量削減率（2019年度比、国内）	78%	71%	53%
廃棄物再資源化率（国内）	62%	63%	59%
廃プラスチック排出量（国内）	196t	181t	180t
廃プラスチック排出量削減率（前年度比、国内）	8%	-1%	41%
廃プラスチック再資源化率（国内）	30%	35%	58%
水使用量削減率（2019年度比、グローバル）	45%	38%	38%
COD排出量削減率（2019年度比、国内）	58%	13%	18%
化学物質の環境排出量（大気および公共用水域）削減率			
└ PRTR対象物質（前年度比、国内）	-10%	-48%	50%
└ PRTR対象物質（2019年度比、国内）	56%	60%	73%
└ VOC（PRTR対象物質を除く）（前年度比、国内）	17%	13%	-13%
└ VOC（PRTR対象物質を除く）（2019年度比、国内）	34%	21%	9%
環境監査実施拠点数			
└ 国内	5拠点	5拠点	5拠点
└ 海外	2拠点	1拠点	2拠点
環境事故・トラブルおよび環境関連法規遵守状況			
└ 環境事故等件数	0件	0件	0件
└ 環境違法罰金額	0円	0円	0円
マテリアルバランス			
Input			
エネルギー			
購入電力			
└ 国内	64,990MWh	65,406MWh	69,527MWh
└ 海外	8,786MWh	8,432MWh	8,853MWh
└ グローバル	73,776MWh	73,838MWh	78,380MWh
太陽光自家発電電力			
└ 国内	0MWh	0MWh	0MWh
└ 海外	110MWh	98MWh	43MWh
└ グローバル	110MWh	98MWh	43MWh
ガス類			
└ 国内	4,575千m ³	4,401千Nm ³	4,745千Nm ³
└ 海外	154千m ³	153千Nm ³	165千Nm ³
└ グローバル	4,729千m ³	4,554千Nm ³	4,910千Nm ³

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
油類			
└ 国内	3,047kL	3,211kL	3,228kL
└ 海外	38kL	39kL	61kL
└ グローバル	3,085kL	3,250kL	3,290kL
熱量換算			
└ 国内	882千GJ	952千GJ	1,011千GJ
└ 海外	84千GJ	92千GJ	98千GJ
└ グローバル	966千GJ	1,045千GJ	1,109千GJ
水			
上水・工業用水			
└ 国内	2,772千m ³	3,154千m ³	3,214千m ³
└ 海外	18千m ³	23千m ³	22千m ³
└ グローバル	2,790千m ³	3,178千m ³	3,237千m ³
地表水（河川水、湖水等）			
└ 国内	520千m ³	511千m ³	490千m ³
└ 海外	0千m ³	0千m ³	0千m ³
└ グローバル	520千m ³	511千m ³	490千m ³
地下水			
└ 国内	0千m ³	0千m ³	2千m ³
└ 海外	8千m ³	9千m ³	6千m ³
└ グローバル	8千m ³	9千m ³	9千m ³
化学物質			
PRTR対象物質			
└ 国内	79t	101t	56t
└ 海外	0.03t	0.02t	0.5t
└ グローバル	79t	101t	57t
VOC（PRTR対象物質を除く）			
└ 国内	775t	800t	968t
└ 海外	4t	4t	5t
└ グローバル	779t	804t	972t
Output			
大気			
温室効果ガス			
└ 国内	48千t-CO ₂ eq	49千t-CO ₂ eq	53千t-CO ₂ eq
└ 海外	5千t-CO ₂ eq	5千t-CO ₂ eq	5千t-CO ₂ eq
└ グローバル	53千t-CO ₂ eq	54千t-CO ₂ eq	58千t-CO ₂ eq

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
NOx			
└ 国内	4.4t	4.2t	5.0t
└ 海外	0.6t	0.6t	1.0t
└ グローバル	5.0t	4.8t	6.0t
SOx			
└ 国内	1.8t	1.7t	1.8t
└ 海外	0.2t	0.4t	0.8t
└ グローバル	2.1t	2.2t	2.6t
ばいじん			
└ 国内	0.08t	0.08t	0.09t
└ 海外	0.04t	0.01t	0.02t
└ グローバル	0.13t	0.09t	0.11t
PRTR対象物質			
└ 国内	0.7t	0.6t	0.4t
└ 海外	0.0t	0.0t	0.0t
└ グローバル	0.7t	0.6t	0.4t
VOC（PRTR対象物質を除く）			
└ 国内	12.8t	14.8t	22.3t
└ 海外	0.1t	0.2t	0.4t
└ グローバル	12.9t	14.9t	22.6t
排水			
排水量			
└ 国内	3,157千m ³	3,444千m ³	3,497千m ³
└ 海外	19千m ³	24千m ³	22千m ³
└ グローバル	3,176千m ³	3,467千m ³	3,520千m ³
BOD負荷量			
└ 国内	3.6t	5.3t	5.7t
└ 海外	0.0t	0.1t	0.1t
└ グローバル	3.6t	5.3t	5.7t
COD負荷量			
└ 国内	5.7t	11.6t	10.9t
└ 海外	0.4t	0.2t	0.2t
└ グローバル	6.1t	11.8t	11.1t
窒素			
└ 国内	2.8t	3.3t	2.6t
└ 海外	0.0t	0.0t	0.0t
└ グローバル	2.8t	3.3t	2.7t

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
リン			
└ 国内	0.1t	0.2t	0.1t
└ 海外	0.0t	0.0t	0.0t
└ グローバル	0.1t	0.2t	0.1t
PRTR対象物質			
└ 国内	0.0t	0.0t	0.0t
└ 海外	0.0t	0.0t	0.3t
└ グローバル	0.0t	0.0t	0.3t
VOC（PRTR対象物質を除く）			
└ 国内	13.5t	16.8t	14.1t
└ 海外	2.4t	2.4t	3.2t
└ グローバル	15.9t	19.1t	17.2t
廃棄物			
発生量			
└ 国内	1,432t	1,433t	1,537t
└ 海外	75t	141t	155t
└ グローバル	1,507t	1,575t	1,692t
再資源化量			
└ 国内	892t	903t	908t
└ 海外	0t	59t	77t
└ グローバル	892t	962t	985t
最終処分量			
└ 国内	9t	12t	19t
└ 海外	24t	30t	26t
└ グローバル	33t	41t	44t
気候変動への取り組み >			
温室効果ガス排出量の削減			
スコープ1 温室効果ガス排出量			
└ 国内掘点油燃料由来	7.8千t-CO ₂ eq	8.1千t-CO ₂ eq	8.2千t-CO ₂ eq
└ 国内掘点ガス燃料由来	9.4千t-CO ₂ eq	9.0千t-CO ₂ eq	10.8千t-CO ₂ eq
└ 国内掘点漏洩フロン類由来	0.7千t-CO ₂ eq	0.1千t-CO ₂ eq	0.8千t-CO ₂ eq
└ 海外掘点油燃料由来	0.1千t-CO ₂ eq	0.1千t-CO ₂ eq	0.2千t-CO ₂ eq
└ 海外掘点ガス燃料由来	0.3千t-CO ₂ eq	0.3千t-CO ₂ eq	0.4千t-CO ₂ eq
└ グローバル総量	18.2千t-CO ₂ eq	17.6千t-CO ₂ eq	20.3千t-CO ₂ eq
スコープ1温室効果ガス排出量削減率（2019年度比）			
└ グローバル	37%	39%	30%

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
スコープ2温室効果ガス排出量			
└ 国内拠点買電由来	29.8千t-CO ₂ eq	31.4千t-CO ₂ eq	32.9千t-CO ₂ eq
└ 海外拠点買電由来	5.1千t-CO ₂ eq	4.9千t-CO ₂ eq	5.0千t-CO ₂ eq
└ グローバル総量	34.9千t-CO ₂ eq	36.3千t-CO ₂ eq	37.9千t-CO ₂ eq
スコープ2温室効果ガス排出量削減率（2019年度比）			
└ グローバル	34%	31%	28%
スコープ1+2温室効果ガス排出量			
└ 国内	47.6千t-CO ₂ eq	48.6千t-CO ₂ eq	52.7千t-CO ₂ eq
└ 海外	5.5千t-CO ₂ eq	5.4千t-CO ₂ eq	5.5千t-CO ₂ eq
└ グローバル	53.1千t-CO ₂ eq	53.9千t-CO ₂ eq	58.2千t-CO ₂ eq
スコープ1+2温室効果ガス排出量削減率（2019年度比）			
└ グローバル	35%	34%	29%
スコープ3温室効果ガス排出量			
└ カテゴリ1（購入した製品・サービス）	723.2千t-CO ₂ eq	682.2千t-CO ₂ eq	665.0千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ2（資本財）	17.1千t-CO ₂ eq	17.1千t-CO ₂ eq	20.2千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ3（スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）	9.0千t-CO ₂ eq	9.0千t-CO ₂ eq	10.3千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ4（輸送、配送（上流））	2.3千t-CO ₂ eq	2.3千t-CO ₂ eq	1.9千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ5（事業から出る廃棄物）	1.3千t-CO ₂ eq	1.3千t-CO ₂ eq	1.2千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ6（出張）	0.6千t-CO ₂ eq	0.7千t-CO ₂ eq	0.8千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ7（雇用者の通勤）	1.1千t-CO ₂ eq	1.1千t-CO ₂ eq	1.1千t-CO ₂ eq
└ カテゴリ12（販売した製品の廃棄）	0.2千t-CO ₂ eq	0.2千t-CO ₂ eq	0.3千t-CO ₂ eq
└ グローバル総量	754.8千t-CO ₂ eq	713.9千t-CO ₂ eq	700.9千t-CO ₂ eq
スコープ1+2+3温室効果ガス排出量			
└ グローバル総量	807.9千t-CO ₂ eq	767.8千t-CO ₂ eq	759.1千t-CO ₂ eq
エネルギー使用量の削減			
エネルギー使用量（グローバル）			
└ 油燃料	112千GJ	118千GJ	122千GJ
└ ガス燃料	217千GJ	208千GJ	225千GJ
└ 電気	637千GJ	718千GJ	763千GJ
└ 合計	966千GJ	1,045千GJ	1,109千GJ

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
温室効果ガス排出削減にむけた取り組み			
社有車に占めるハイブリッド車の比率	82%	70%	67%
社有車燃料由来のCO ₂ 排出量（国内）			
↳ CO ₂ 排出量	3,145t-CO ₂	3,596t-CO ₂	3,520t-CO ₂
↳ CO ₂ 排出量削減率（2019年度比）	24%	14%	15%
フロン類			
↳ 漏えい量（国内）	160kg	43kg	179kg
↳ 漏えい量（国内）	649t-CO ₂ eq	74t-CO ₂ eq	809t-CO ₂ eq
水資源への取り組み ▶			
水資源の有効活用			
水使用量（グローバル）			
↳ 上水・工業用水	2,790千m ³	3,178千m ³	3,237千m ³
↳ 地表水（河川水、湖水等）	520千m ³	511千m ³	490千m ³
↳ 地下水	8千m ³	9千m ³	9千m ³
↳ 合計	3,319千m ³	3,698千m ³	3,735千m ³
↳ 水使用量削減率（2019年度比）	45%	38%	38%
排水量（グローバル）			
↳ 河川	2,805千m ³	3,090千m ³	3,151千m ³
↳ 海	312千m ³	317千m ³	307千m ³
↳ 下水道	59千m ³	60千m ³	62千m ³
↳ 合計	3,176千m ³	3,467千m ³	3,520千m ³
廃棄物削減・資源循環への取り組み ▶			
廃棄物の適正管理と削減			
廃棄物発生量（国内）			
↳ 廃棄物発生量	1,432t	1,433t	1,537t
↳ 廃棄物発生量の削減率（対2019年度比）	40%	40%	35%
↳ 廃棄物発生量の削減率（対前年度比）	0%	7%	18%
廃棄物最終処分量（国内）			
↳ 最終処分量	8.7t	11.7t	18.9t
↳ 最終処分量の削減率（対2019年度比）	78%	71%	53%
↳ 最終処分量の削減率（対前年度比）	32%	38%	52%
↳ 最終処分率	0.6%	0.8%	1.2%
廃棄物再資源化量（国内）			
↳ 再資源化量	892t	903t	908t
↳ 再資源化率	62%	63%	59%

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
廃プラスチック排出量（国内）			
↳ 排出量	196t	181t	180t
↳ 排出量削減率（対前年比）	-8%	-1%	41%
廃プラスチック再資源化量（国内）			
↳ 再資源化量	59t	63t	104t
↳ 再資源化率	30%	35%	58%
汚染防止への取り組み ▶			
大気汚染の防止			
大気汚染物質排出量（国内）			
↳ NOx	4.4t	4.2t	5.0t
↳ SOx	1.8t	1.7t	1.8t
↳ ばいじん	0.1t	0.1t	0.1t
水質汚濁の防止			
公共用水域への環境負荷（国内）			
↳ BOD	3.6t	5.3t	5.7t
↳ COD	5.7t	11.6t	10.9t
↳ 窒素	2.8t	3.3t	2.6t
↳ リン	0.1t	0.2t	0.1t
PRTR対象物質およびVOC			
PRTR対象物質（国内）			
↳ PRTR取扱量	79t	101t	56t
↳ PRTR大気排出量	0.7t	0.6t	0.4t
↳ PRTR公共用水域排出量	0.0t	0.0t	0.0t
↳ PRTR排出量計（大気および公共用水域）	0.7t	0.6t	0.4t
VOC（PRTR対象物質を除く）（国内）			
↳ PRTR対象物質を除く VOC取扱量	775t	800t	968t
↳ PRTR対象物質を除く VOC大気排出量	12.8t	14.8t	22.3t
↳ PRTR対象物質を除く VOC公共用水域排出量	13.5t	16.8t	14.1t
↳ PRTR対象物質を除く VOC排出量計（大気および公共用水域）	26.3t	31.5t	36.3t

横浜市地球温暖化対策計画書制度への取り組み

計画書【PDF：382KB】 

実施状況報告書【PDF：2.8MB】 

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度

環境会計 >

環境会計

環境保全コスト

└ 投資額			
└公害防止コスト	23百万円	397百万円	68百万円
└地球環境保全コスト	141百万円	62百万円	101百万円
└資源循環コスト	27百万円	7百万円	3百万円
└上・下流コスト	0百万円	0百万円	0百万円
└管理活動コスト	6百万円	0百万円	0百万円
└研究開発コスト	0百万円	0百万円	0百万円
└社会活動コスト	0百万円	0百万円	0百万円
└環境損傷対応コスト	0百万円	0百万円	0百万円
└合計	197百万円	466百万円	172百万円
└ 費用額			
└公害防止コスト	236百万円	307百万円	278百万円
└地球環境保全コスト	62百万円	42百万円	16百万円
└資源循環コスト	105百万円	101百万円	98百万円
└上・下流コスト	16百万円	1百万円	1百万円
└管理活動コスト	238百万円	143百万円	127百万円
└研究開発コスト	0百万円	0百万円	0百万円
└社会活動コスト	3百万円	0百万円	0百万円
└環境損傷対応コスト	6百万円	1百万円	1百万円
└合計	666百万円	595百万円	521百万円

環境保全効果

└ 国内環境パフォーマンス指標			
└エネルギー使用量	882千GJ	952千GJ	1,011千GJ
└水使用量	3,293千m ³	3,665千m ³	3,706千m ³
└スコープ1+2温室効果ガス排出量	53千 t -CO ₂	49千 t -CO ₂	53千 t -CO ₂
└SOx排出量	1.8t	1.7t	1.8t
└NOx排出量	4.4t	4.2t	5.0t
└廃棄物発生量	1,432t	1,433t	1,537t
└再資源化量	892t	903t	908t
└廃棄物最終処分量	9t	12t	19t
└排水量	3,157千m ³	3,444千m ³	3,497千m ³
└PRTR対象物質取扱量	79t	101t	56t
└BOD負荷量	3.6t	5.3t	5.7t
└COD負荷量	5.7t	11.6t	10.9t

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
環境保全に伴う経済効果			
└ 環境保全の取り組み			
└ 省エネルギーによる費用の削減・高効率機器への更新	68,148千円	25,144千円	6,829千円
└ リサイクルにより得られた収益	4,929千円	5,289千円	18,351千円
└ 省資源・リサイクルによる費用の削減	8441千円	4280千円	547千円

社会

患者さん・医療関係者の皆さまとともに

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
安定供給 >			
医薬品の安定供給			
グループ工場			
└ 国内	2カ所	2カ所	2カ所
└ 海外	3カ所	3カ所	4カ所
情報提供 >			
MRによる情報提供と情報収集			
MR数（グループ国内）	一人	一人	一人
MR数（グループ海外）	280人	430人	約430人
Webサイトを通じた情報発信			
健康支援サイト訪問者数	2,195万人	2,046万人	2,425万人
「くすり相談センター」での情報提供			
くすり相談センターへの問い合わせ件数※	41,808件	38,831件	36,235件
※ 2018年度より一部製品の販売を他社に移管したため件数が減少。当社WebサイトQ&Aへのアクセスが増加傾向にある。			
医薬品安全性／信頼性保証 >			
医薬品・安全性教育			
医薬品・安全性研修（役員含む全従業員）	年1回	年1回	年1回
医療アクセス向上に関わる課題解決 >			
研究開発の推進 >			
公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）への参画	有	有	有

従業員とともに

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度

人材育成 >

人事の基本的な考え方

従業員数（3月末）

└ グループ	4,492人	5,577人	6,370人
└ 単体	2,467人	3,044人	3,107人
└ 男性	1,789人	2,290人	2,354人
└ 女性	678人	754人	753人
新卒採用数 ※翌年度4/1入社	29人	33人	17人
└ 男性	12人	18人	8人
└ 女性	17人	15人	9人
キャリア採用数	16人	18人	24人
└ 男性	14人	10人	18人
└ 女性	2人	8人	6人
派遣社員数 ※グループ（国内）	154人	192人	163人
従業員の平均年齢	46.6歳	47.4歳	46.3歳
従業員の平均勤続年数	21.9年	22.8年	20.4年
従業員離職率（自発的離職者のみ） ※グループ（国内）	3.18%	4.10%	2.91%

充実した研修体系の構築

社内集合研修 年間平均時間（国内）	4.3時間	3.6時間	1.9時間
-------------------	-------	-------	-------

ダイバーシティ&インクルージョンの推進 >

多様な人材の活躍

地域別従業員数

└ 日本	3,312人	4,043人	4,217人
└ 北米	305人	282人	854人
└ EMEA（欧州、中東、アフリカ）	182人	193人	229人
└ アジア・オセアニア	693人	1,059人	1,070人

女性職員の係長相当以上・管理職への登用率 ※翌年度4/1時点

└ 係長相当以上	21.6%	18.1%	17.9%
└ 管理職	17.7%	13.9%	12.9%
女性従業員比率	27.9%	24.9%	24.3%

障がい者活躍の支援

障がい者雇用率 ※グループ（国内）	3.37%	3.09%	2.69%
-------------------	-------	-------	-------

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
多様な働き方を支援			
育児休業・育児短時間勤務制度使用実績 ※グループ（国内）			
└ 育児休業	174人	193人	152人
└ 男性	83人	87人	99人
└ 女性	91人	106人	53人
└ 育児短時間勤務	77人	100人	122人
介護休業・介護短時間勤務制度使用実績 ※グループ（国内）			
└ 介護休業	0人	1人	2人
└ 介護短時間勤務	1人	3人	6人
健全な労使関係の構築			
団体交渉権をもつ従業員の割合（3月末） ※グループ（国内）	68.5%	76.3%	72.0%
労働安全衛生 >			
労働安全衛生への取り組み			
休業度数率（国内）			
└ グループ（国内）	0.00	0.00	0.13
└ （参考）医薬品製造業平均	1.41	1.01	1.29
└ （参考）製造業平均	1.30	1.29	1.25
労働災害強度率※1	0.000000	0.000000	0.001070
労働災害による死亡者数	0人	0人	0人
従業員意識調査			
従業員意識調査の実施回数	年1回	年1回	年1回
└ 回答数	3,994人	5,220人	5,258人
└ 回収率	84%	89.68%	87.49%
※1労働災害強度率：1,000延べ労働時間当たりの労働災害による労働損失日数を用いることで、労働災害の重さの程度を表す指標。（同数字が高いほど災害の程度は重い）			
健康経営 >			
従業員の健康管理			
時間外労働（年間360時間超人数） ※グループ（国内）	125人	99人	86人
有給休暇取得率 ※グループ（国内）			
└ 取得日数	16.4日	16.9日	16.6日
└ 取得率	74.4%	77.9%	77.1%
年間総実労働時間	1,817.9時間	1,855.0時間	1,803.0時間
健康診断受診率	100.0%	100.0%	99.9%
ストレスチェック受検率	98.8%	99.0%	98.7%

地域・社会とともに

記載項目	掲載データ		
	2024年度	2023年度	2022年度
医療・福祉への貢献 >			
難病の患者さんとその家族への支援			
難病患者団体への支援「田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」	14団体	17団体	16団体
助成金額合計	987万円	975万円	887万円
開発途上国への貢献			
TABLE FOR TWO (TFT)			
↳ TFTメニューによる寄付給食数	1,898食	2,609食	2,303食
↳ TFT自動販売機による寄付給食数	2,422食	2,658食	2,244食
ワクチン支援「せかワクぶっく」の参加			
↳ ポリオワクチン概算（せかワブぶっく）	11,729人分	11,225人分	9,281人分
↳ ポリオワクチン概算（エコキャップ運動）	152人分	110人分	—
科学技術の発展 >			
財団の支援事業			
先進医薬研究振興財団			
研究助成件数	102件	105件	108件
助成金額合計	13,500万円	13,400万円	13,700万円
日本応用酵素協会			
研究助成件数	155件	165件	159件
助成金額合計	7,410万円	8,230万円	8,850万円
地域コミュニティの振興 >			
史料館来館者数	4,747人	5,113人	3,362人
吉富夏祭り来場者数	2,000人	2,200人	1,200人
その他			
社会貢献関連寄付額	504百万円	490百万円	752百万円
ボランティア休暇取得者数	9人	9人	1人